



令和 6 年 12 月 13 日
海 上 保 安 庁

令和 6 年度海洋情報部研究成果発表会を開催 ～能登半島地震から 1 年、海域地震調査の取組み～

海上保安庁は、令和 7 年 1 月 30 日（木）、「能登半島地震から 1 年、海域地震調査の取組み」をテーマに、「海洋情報部研究成果発表会」を開催します。

1. 概要

海洋情報部では、海洋情報に関する最新の調査・研究の成果について発表する「海洋情報部研究成果発表会」を毎年開催しています。今年度は、能登半島地震発生直後に海洋情報部が実施した水深等の緊急調査や、地震発生前後のデータ比較により明らかとなった海底地すべりの痕跡など、震源海域周辺での海底地形調査等で得られた研究成果などについて発表を行います。

また、基調講演として、東京大学大気海洋研究所准教授 山口 飛鳥氏から「学術研究船白鳳丸による能登半島地震緊急調査」と題し、講演をいただくこととしています。

※ 発表内容の詳細については、別紙 1 をご参照ください。

2. 開催日時

令和 7 年 1 月 30 日（木）13：30～17：30（13：00 開場）

3. 開催方法（ハイブリッド方式）

会場：中央合同庁舎第 4 号館 2 階 共用 220 会議室
（東京都千代田区霞が関三丁目 1 番 1 号）

オンライン：Cisco Webex Meetings

4. 参加申込等

- （1）会場及びオンラインともに参加は無料です。
- （2）別紙 2「参加申込み方法」をご参照のうえ、令和 7 年 1 月 23 日（木）までに海洋情報部ホームページよりお申込みをお願いします。
- （3）会場の座席数は最大 150 席です。
- （4）会場に専用駐車場はございませんので、ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

令和 6 年度海洋情報部研究成果発表会/水路新技術講演会プログラム

日 時：令和 7 年 1 月 30 日（木）13:30～17:30（13:00 開場）
会 場：中央合同庁舎第 4 号館 2 階 共用 220 会議室
方 式：ハイブリッド方式（会場開催と Web によるオンライン開催）
主 催：海上保安庁海洋情報部 共 催：一般財団法人日本水路協会
テーマ：能登半島地震から 1 年、海域地震調査の取組み

<開会挨拶>

13:30-13:40 海洋情報部長 藤田 雅之

<口頭発表>

①13:40-14:20 【基調講演】

学術研究船白鳳丸による能登半島地震緊急調査
東京大学大気海洋研究所
海洋地球システム研究系海洋底科学部門准教授 山口 飛鳥

14:20-14:45 休憩

②14:45-15:00 【業務紹介】

海上保安庁による防災・災害対応調査
沿岸調査課長 森下 泰成

③15:00-15:20 能登半島地震発生直後の緊急調査について

沿岸調査課 橋本 崇史

④15:20-15:50 能登半島周辺海域の海底地形調査によって 明らかになった海底地すべりの痕跡

技術・国際課 南 宏樹

⑤15:50-16:20 能登半島北岸断層帯における海底地形調査

海上保安大学校 石川 直史

⑥16:20-16:50 令和6年能登半島地震の津波による海底での 津波堆積物の検知

海上保安大学校 川村 紀子

※講演及び発表の時間には、質疑応答時間を含みます。

16:50-17:10 全体的な質疑応答

<ポスター発表(会場展示)>

17:10~17:25 ポスター発表者より紹介

P1 2024年までに得られた海底地殻変動観測の成果

沿岸調査課海洋防災調査室 海底地殻変動観測グループ

P2 孀婦海山の地形解析結果について

~2023年に発生した鳥島近海の地震・津波関連~

技術・国際課 火山調査官

沿岸調査課海洋防災調査室 火山担当

ほか

<閉会挨拶>

17:25-17:30 技術・国際課長 富山 新一

参加申込み方法

参加を希望される方は、次の要領により事前に申込みをお願いします。

1 申込方法

海上保安庁海洋情報部のホームページから「[参加申込みボタン](#)」をクリック又は、スマートフォンなどにて、次の二次元バーコードを読み取り、フォームに従い必要事項を入力の上、お申込みください。

<必要事項>

- ①聴講方法（会場またはオンライン）、
- ②氏名、③ 所属、④ 連絡先（メールアドレス）



2 申込期間

令和7年1月23日(木)まで

※ お申込みが多数の場合は、期間中に締め切りとさせていただく場合があります。会場参加は先着順となりますので、予めご了承ください。

3 参加費 無料

4 参加条件

- (1) 発表会は、Web 会議サービス Cisco Webex Meetings を使用します。聴講環境は、参加者ご自身で設定してくださいようお願いいたします。
- (2) Web 会議サービスに参加する際、アクセス名の入力が必要です。お申込み時に記入した「氏名」を使用してください。
- (3) 発表会開催中は、入力したアクセス名（氏名）が、参加者全員に公開されますので、ご承諾願います。

5 参加者への通知

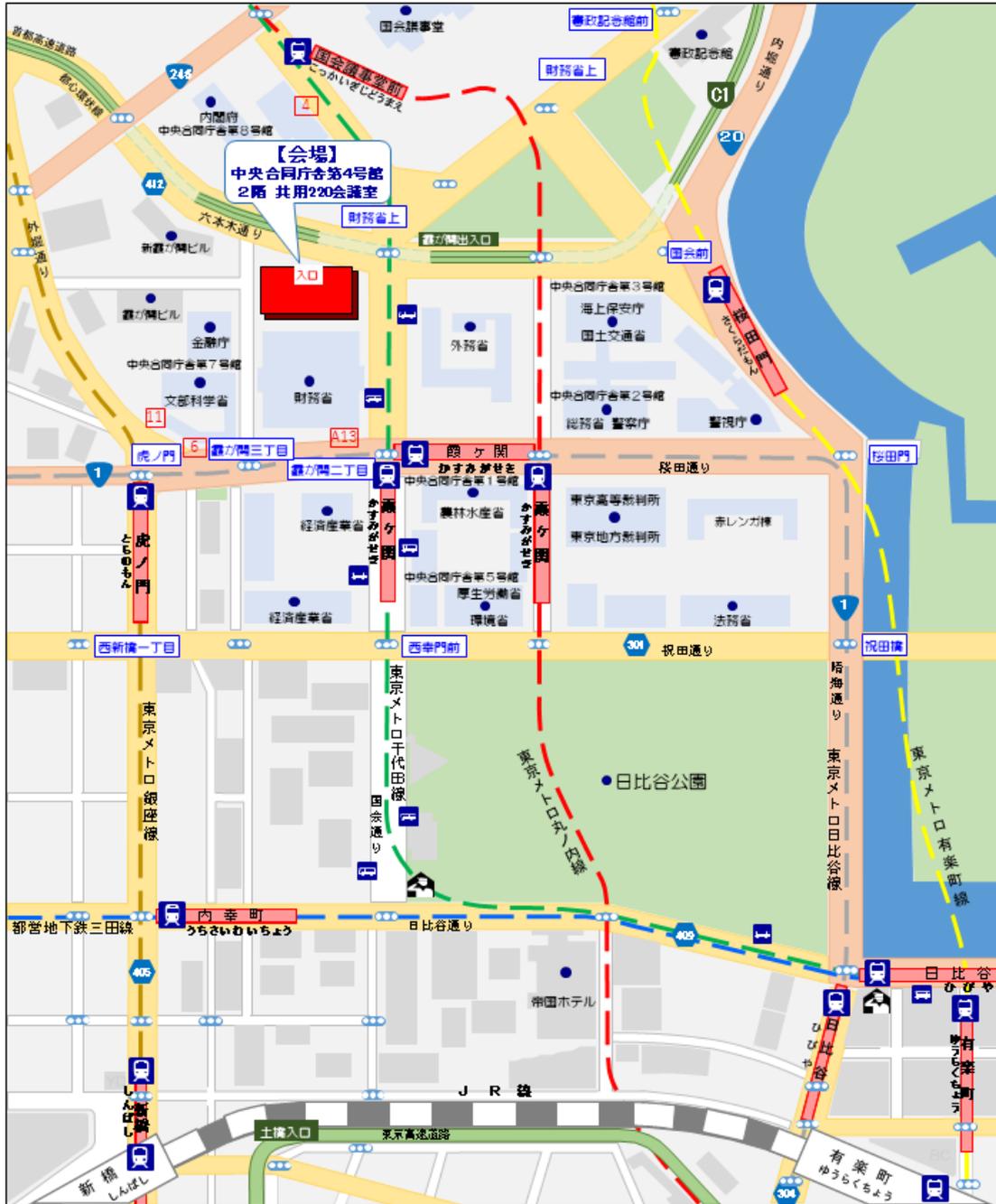
令和7年1月24日(金)までに、お申込み時に記入いただいた連絡先（メールアドレス）へご連絡いたします。

6 その他

基調講演及び成果発表の録画動画については、後日、海洋情報部ホームページにて公開を予定しています。

ご参加お待ちしております。

会場へのアクセス



海洋情報部研究成果発表会
会場へのアクセス

会場 中央合同庁舎第4号館2階 共用220会議室
東京都千代田区霞が関三丁目1番1号

最寄り駅 東京メトロ

- ・丸ノ内線・千代田線・日比谷線「霞ヶ関駅」A13番出口 徒歩5分
- ・丸ノ内線・千代田線「国会議事堂前駅」4番出口 徒歩5分
- ・銀座線「虎ノ門駅」6・11番出口 徒歩5分

能登半島地震から1年、 海域地震調査の取組み

主催者挨拶

海洋情報部長 藤田 雅之

基調講演

学術研究船白鳳丸による能登半島地震緊急調査

東京大学大気海洋研究所海洋地球システム研究系海洋底科学部門

准教授 山口 飛鳥

業務紹介

海上保安庁による防災・災害対応調査

沿岸調査課長 森下 泰成

成果発表

能登半島地震発生直後の緊急調査について
沿岸調査課 橋本 崇史

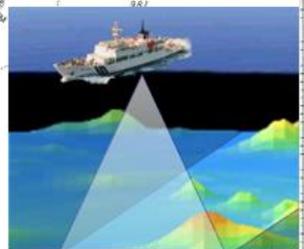
能登半島周辺海域の海底地形調査によって
明らかになった海底地すべりの痕跡
技術・国際課 南 宏樹

能登半島北岸断層帯における海底地形調査
海上保安大学校 石川直史

令和6年能登半島地震の津波による海底での
津波堆積物の検知
海上保安大学校 川村 紀子

※そのほかポスター発表あり
詳しくは、海洋情報部ホームページをご覧ください。

令和7年1月30日(木)
午後1時30分から(開場午後1時)



開催方法: **会場&オンラインハイブリッド**

会場: 東京都千代田区霞が関 中央合同庁舎第4号館 共用220会議室

東京メトロ 霞ヶ関駅・虎ノ門駅・国会議事堂前駅から徒歩5分

オンライン: Web会議サービス (Cisco Webex Meetings)

参加費: **無料** 事前申込み制

主催: 海上保安庁海洋情報部 共催: 一般財団法人日本水路協会

参加申込みは
こちらから

海上保安庁海洋情報部は、海の安全を守るため海図を作製しています。